

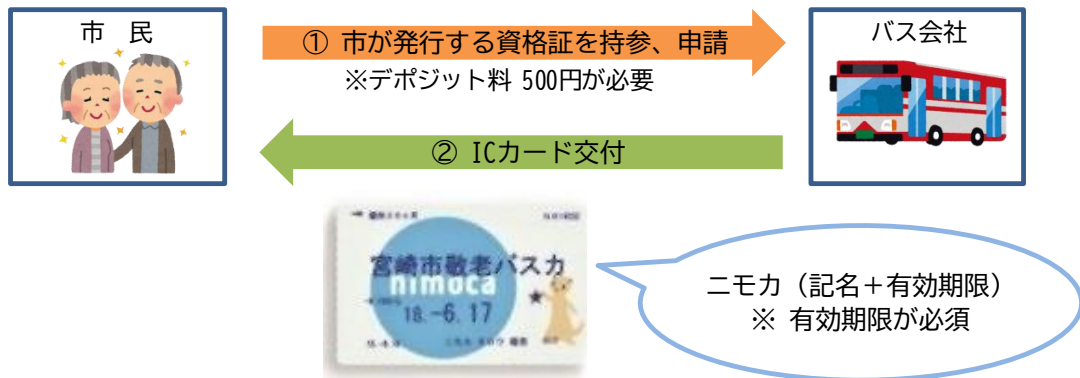
議題5 これまでに検討したICカード手法と課題について

1. 定期券方式

交通系ICカードの「定期券」の機能を活用した手法で、降車の際に指定の金額がICカードから差し引かれる。

【宮崎市（敬老バスカ）の場合】 ※一乗車につき100円

(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) 更新手続き



【定期券方式の課題】

- ・大分バス、大分交通それぞれのICカードが必要となる。
- ・一定期間ごとに更新手続きが必要となる（宮崎市は3年に1回）。
- ・ICカード交付のための窓口設置が必要となり、多額の費用が必要となる。

2. ポイントバック方式

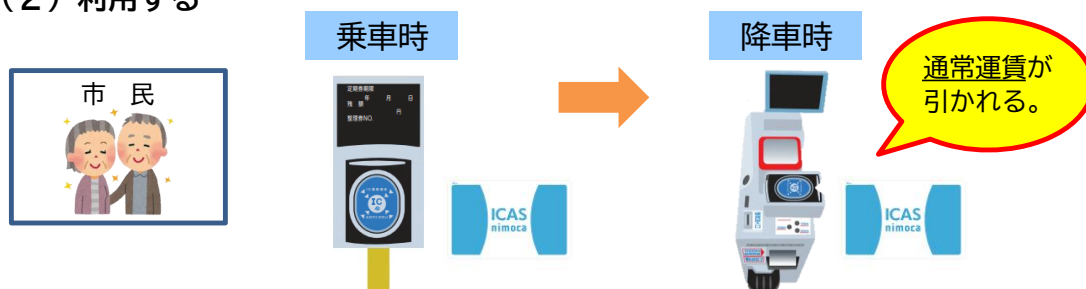
交通系 IC カードの「ポイントバック」の機能を活用した手法で、乗車の際は通常運賃が差し引かれ、後日、ポイントで割引相当額分のポイントが還元される。

【函館市（高齢者交通料金助成制度）の場合】

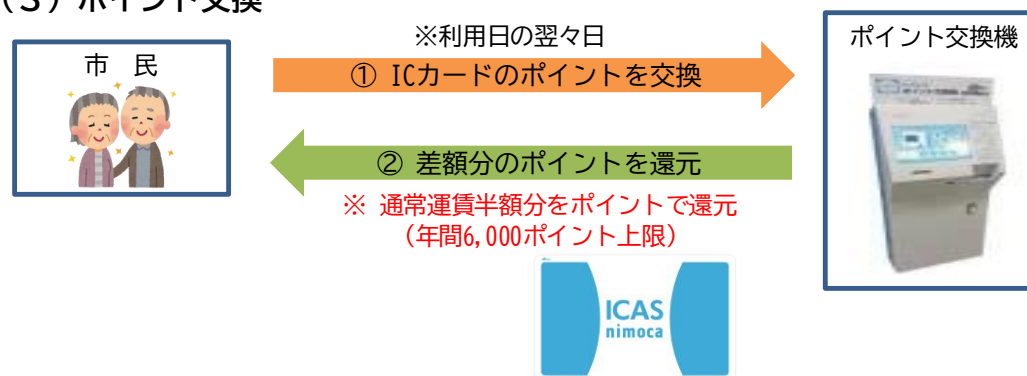
(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) ポイント交換



【ポイントバック方式の課題】

- ・一旦、通常運賃を負担する必要がある。
- ・ポイント交換を行う必要がある。
- ・ポイントに有効期限がある（ポイントが付与日の翌年の12月末日まで）。
- ・ICカード交付のための窓口設置が必要となり、多額の費用が必要となる。